

ごあいさつ

代表 かた ざり まさ き
片桐真樹



主役は我々ではありません。
故人様とご家族です。

我が家の家族葬を実現しませんか。

はじめまして。株式会社貴方の側で「登戸の杜」代表の片桐真樹と申します。

私がこのお仕事に就いた契機は約20年前に遡ります。火葬場を見学した際、「ここで仕事をやる人たちはどんな思いを持って仕事に取り組んでいるのだろうか?」と素朴な疑問を持ったことから始まりました。互助会、JA、一般葬儀社で経験を積み、専門学校の葬祭学科で学科長を拝命いたし、多くの人材を送り出してきました。

私が提唱する「家族葬」とは、故人様とご家族の“想い”が詰まったご葬儀です。

実は家族葬という言葉に定義はありません。

振り返ると最後のお別れ。もう少しこうしておけば…と悔いのないご葬儀を行うために、たくさんの想いを聞かせてください。その想いを実現できる新しい葬儀屋さん、それが登戸の杜です。

主役は我々ではありません。故人様とご家族です。

我が家の家族葬を実現しませんか。

? この仕事の魅力は? ?

故人様、ご家族のテーマに添ったお葬式やお別れをご提案し一緒にお手伝いできることです。お別れにルールや形式はありません。

そして、何よりお客様からの「ありがとう」「良いお別れができた」などのお言葉は何物にも代えがたい私たちの宝です。人生最後の旅立ちに携われる貴重なお仕事だと思っております。

私たちの想い ~新しい葬送の形~

実は、葬儀で大事なこと。故人様との良い思い出を共有する場を持ちつつも火葬・埋葬の行政手続き、ご葬儀の進行などを滞りなく行うことです。喪主様やご家族様は、良いお別れの場に集中いただき、行政手続き等は私どもにお任せください。

登戸の杜の 「家族葬」エピソード

「帝国ホテルのアイスクリーム」 もう一度食べたい…

お父様を亡くされたご家族と、打ち合わせをしていた時のこと。「父は大阪出張の帰りに、新幹線の車内食堂で食べる帝国ホテルのアイスクリームが大好きでした。亡くなる数日前にも『もう一度食べたい』と言っていたんです」と話して下さった娘様。ですが、その後は準備に追われ、アイスクリームの準備をする間もなく、通夜前日となってしまいました。

「何とかしてお別れの時、棺に入れて差し上げたい」そう思った私は帝国ホテルに電話をかけました。しかし、注文しても届くのは3~6日後。思い切って事情をお話したところ、ホテルの方が親身に聞いて下さり、すぐに手配してくれたのです!

お父さん、おいしいね



通夜当日の午後、4個セットのバニラアイスが届きました。早速、ご家族にそのことをお伝えし、私は一つご提案をさせていただきました。

「よろしければお別れの時に持たせてあげて下さい。2個はお父様、もう2個はご家族で。お父様の好きなアイスを召し上がってはいかがですか?」

*

通夜が終わり参列者の帰られた式場……。お父様の傍らにご家族が集まり、そこにアイスクリームが運ばれてきました。スプーンにすくい「おいしい?」「よかったね」と、お父様の唇にそっと触れさせ話しかける皆様。とても素敵な笑顔でした。そして最後に娘様が「お父さん、育ててくれてありがとう」と涙を流された時、式場は悲しくも温かな気持ちでいっぱいになりました。

その後、思い出話をされながら召し上がったバニラアイスは、どんなお味だったのかなと今も時々思います。

「登戸の杜」が考える家族葬とは

故人様を一番よく知る家族だからこそ、創りあげられる葬儀があります。それこそが私たちの考える家族葬です。「この曲をかけたい」「愛犬と一緒に見送ってもいい?」、遠慮はいりません。どんなことでもお聞かせください。

無宗教でのお別れ会



「登戸の杜」家族葬プラン ※会員価格

直葬ライトプラン 138,000円~ (税込 151,800円~)

家族葬プラン 星 388,000円~ (税込 426,800円~)



ハワイをイメージした祭壇でお見送り